

よろこび

日蓮宗 顕慶会

本山 妙顯寺
長春山 本要寺

『日蓮聖人との対話』五（感応対談）

貫首 齊藤 日軌

（問者）日蓮聖人様、南無妙法蓮華經と唱えることは私たちに出来ません。そんな難しいことでは無いと思いませんか。お釈迦様になつたような気にもそこそこなれるでしょう。しかし、お釈迦様の様に、考え行動することは至難のわざです。しかも、環境悪化に向かう地球人類を救うなどと云う事は困難でしょう。

（日蓮聖人）南無妙法蓮華經と唱えると云う事は、釈尊の御魂を我が心に頂くとことである。その時、釈尊はそなた達の血肉となり、因果の功徳、仏の魂はそなた達の骨髄となる。すなわちそなた達は、現世に生きる釈尊である。釈尊として考え、行動すべきなのです。南無妙法蓮華經とは一大秘法であり本仏の魂意識です。そなた達が南無妙法蓮華經と唱える事は本仏の魂に帰る、本仏の命を頂く祈りなのです。本仏とは、私が大曼陀羅本尊に図顕してあるように、大宇宙の大生命そのものである。ななた達の命は大宇宙の生命を構成し、南無妙法蓮華經と唱えるそなた等の心のなかに本尊があることを悟るのである。人は、悟ったら仏として行動する。人の振る舞いは仏の振るまいとなるのです。此れが仏の行い。

祈り、悟り、行いの南無妙法蓮華經が三大秘法と私が呼んだものです。釈尊がこの世に生まれて仏法を説いた、その一番の目的は、仏としての行動をしなさいと言うことです。



（問者）大聖人のお言葉により、祈り悟り行いの三大秘法が大切だと云う事が理解できました。しかし、国家や社会、戦後唯物論、物質至上主義の教育を受けた個人主義の教育を受けておりますので、そのへんをなんとかしなければなりません。

（日蓮聖人）我が日本国は法華經の精神で形成された一つである。諸仏がこの世に肉体を持った。だ、仏知見を悟らぬ衆生に仏知見を開かぬ、仏知見を示す。故である。行わすなわち、仏知見の道に認めんと欲する。悟らぬ、行わすなわち、人類の認識を開かせ、世界の国々に大宇宙、地球、植物、動物、人類が本仏の命よ共榮する一つの生命体であるという認識をさせ、悟らせ、その思想、信仰に基づき、行動をさせなければ成りません。そのために、諸宗教を自覚させ、正しい信仰にもとづく家庭教育を導き、学校教育を改革しなければならず、家庭、仏知見、すなわち、大宇宙生命体を根本とし、本仏の仏意を根底におく哲学、宗教、宇宙物理学、自然科学、政治学、社会学、国際関係学、公害学等の学問を研究教育するのである。

日蓮聖人のお言葉

南無妙法蓮華經となれば、釈尊はそなた達の血肉となり、仏の魂はそなた達の骨髄となる。

